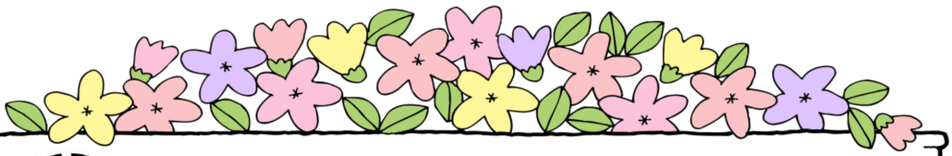


さくらじま

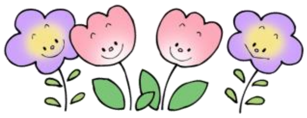
【学校教育目標】
自ら学び，高めあい
よりよく生きようとする子どもの育成

令和5年9月12日　NO15

１学期の「学校アンケート」集計結果について

7月に全校児童と保護者の皆様にアンケートを実施させていただきました。児童618人保護者は４９４人の方に回答をいただきました。結果概要をお伝えします。結果は２学期からの取組に生かしていきたいと思っています。ご協力ありがとうございました。

（１）【児童】誰にでもすすんであいさつをしている。



している	51％（314人）	84％
どちらかといえばしている	33％（204人）	

本校では毎年あいさつを「進んで自分から」できるように学校全体で取組んでいます。昨年「している」と答えた児童は47％でした。取組を続けることで少しずつあいさつをすることを大切に感じてできる児童が増えていると考えます。「あまりしていない」「していない」と答えた児童も16％になり２％の減少となりました。ご家庭でも引き続き，あいさつを大切にしていただきますようお願いします。

（２）【児童】学校の勉強は楽しいですか。

そう思う	53％（326人）	90％
どちらかといえばそう思う	37％（230人）	

【保護者】学校は，わかりやすい授業に努めている。

はい	52％（257人）	98％
どちらかといえば「はい」	46％（225人）	

「学校の勉強は楽しい」と思っている児童は90％です。（昨年度比＋１％）　また保護者の98％の方から，わかりやすい授業を行っていると感じていただいています。職員一同日々子どもたちが楽しいと感じて学べる授業，「なるほど」とわかる実感のある授業を目指しています。授業は子どもと授業者で作り上げるものです。日々の授業を大切に授業づくりに取組んでいます。

（３）【保護者】学校は，いじめのない楽しい学校づくりに努めている。

はい	46％（228人）	96％
どちらかといえば「はい」	50％（249人）	

本年度も保護者の96％の方から，肯定的な回答をいただきました。「はい」の回答が昨年度より８％増となりました。引き続き学校生活の中で，子どもたち一人ひとりの思いを丁寧に把握するとともに，安心した学校を目指し人権教育の推進に努めます。

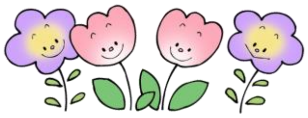
（４）【児童】先生は自分の話をよく聴いてくれたり，自分のことを認めてくれたりする

はい	69％（427人）	95％
どちらかといえば「はい」	26％（157人）	

新しい学年になり，担任や授業者との関係づくりが１学期でした。教員が「話を聞いている」「頑張りを認めている」と感じた子どもが95％（昨年度比＋２％）でした。しかし，そう思えていない子どもが５％いることを踏まえて，2学期以降も関係づくりに取組んでいかなければいけないと考えています。全職員で確認しました。

【保護者】学校は保護者の相談に適切に対応している。

はい	60％（296人）	99％
どちらかといえば「はい」	39％（192人）	



保護者の方には99％（昨年度比＋１％）の方に，「学校に相談できる」と考えていただいていることがわかりました。ご家庭と学校とが両輪となって役割をもって子どもたちを育んでいくことが何よりも重要だと考えています。

（５）【児童】ひと月にどれくらいの本を読んでいますか。

6冊以上	45％（281人）	68％
３～５冊	23％（144人）	

【保護者】子どもに読書を勧めている。

はい	41％（202人）	81％
どちらかといえば「はい」	40％（200人）	

68％の児童が，「ひと月に３冊以上の本を読む」と回答していますが（昨年度比－3％），３冊以下の児童も31％（193人）になることもわかりました。保護者の方からの働きかけは5％増となっていますが，なかなか読書をするきっかけ作りは簡単ではないと感じます。学力学習状況調査においても課題となっている読解力，書く，読む力を育むためにも読書に親しむ機会を学校でも大切にしていきます。